

としょかん つうしん

通巻85号

(平成27年10月)

編集・発行 印西市立大森図書館

図書館ホームページ

・パソコン から…

<http://www.library.city.inzai.chiba.jp/>

・携帯電話 から…

<http://www.library.city.inzai.chiba.jp/i/>

2015 第69回 読書週間 10月27日(火)~11月9日(月)

終戦の2年後の1947(昭和22)年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。

第1回「読書週間」は11月17日から23日でした。これはアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれたり、読書運動を紹介する番組が作られました。いまの10月27日から11月9日(文化の日をはさんで2週間)になったのは第2回からです。

それから60年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。



いんざい君©2011 印西市

印西市の全図書館では読書週間にあわせて特別展示を行います。ぜひご利用ください。



~これからの催し~

図書館利用者懇談会 <そうふけ図書館>



市民のみなさまに親しまれる利用しやすい図書館を目指し、「利用者懇談会」を開催します。日ごろ利用してお気づきの点がありましたら、ご意見をお聞かせください。そうふけ図書館以外の印西市の図書館を利用されている方も、どなたでも参加できますので、みなさまのご参加をお待ちしています。

【日時】10月10日(土)

午前10時30分~正午

【場所】ふれあい文化館 2階 会議室

【申込】不要

【問合せ】そうふけ図書館(Tel.45-2566)

ぬいぐるみといっしょのおはなし会 & ぬいぐるみのおとまり会

<本埜図書館>



みなさんのお友達(ぬいぐるみ)が夜の図書館を探検! いっしょにおはなしを聞いたあとに、ぬいぐるみたちが図書館へお泊まりします。夜のぬいぐるみたちの様子は…?

【日時】10月25日(日)

開場:14時45分 開演:15時00分

【場所】本埜図書館 おはなしコーナー

【対象】幼児~小学3年生程度

【定員】ぬいぐるみのおとまり会:申込制

先着10名(ぬいぐるみは1人1体まで)

※おはなし会だけの参加は申込不要

【申込】10月3日(土)午前9時から本埜図書館
窓口または電話にて受付(先着順)

【問合せ】本埜図書館(Tel.97-3210)

＜そうふけ図書館＞

ブックリサイクル

＜小林図書館＞

【日にち】11月7日(土)・8日(日)
【場所】ふれあい文化館
【申込】不要
【問合せ】そうふけ図書館(Tel.45-2566)

【日にち】11月14日(土)・15日(日)
【場所】小林図書館入口
【申込】不要
【問合せ】小林図書館(Tel.97-0005)

図書のリサイクル(無料配布)を行います。各施設の、年に一度の館まつりと同時開催です。詳細については、ポスター、チラシ、ホームページ等でお知らせします。

たのしかったよ! ~行事報告~

科学あそび

「万華鏡を作ろう!」

＜小林図書館＞7月24日(金)

夏休みに入ってすぐの金曜日、猛暑の中、小学4年~6年の12人が参加してくれました。万華鏡の歴史やしくみの説明を真剣に聞き、制作ではみんなとても器用で、オリジナルの素敵な万華鏡をつくることができました。最後に行った絵本の読み聞かせが好評で嬉しく思いました。

(小林公民館との共催事業)



「光で遊ぼう!」

~色の不思議~

＜小倉台図書館＞7月25日(土)

東大大学院生が中心となり活動している「柏の葉サイエンスエデュケーションラボ」を講師に、光と色の関係について学びました。自ら作成した分光器をのぞきこみ、見える色に歓声をあげる29名の子ども達。観覧していた大人からも思わず「見せて」と声があがっていました。

(中央駅前地域交流館との共催事業)



「ハンドパワー」

~ペットボトルの中に金魚が~

＜そうふけ図書館＞8月5日(水)

市内の中学校で理科教師をされていた松田先生を講師にお迎えして、空気の不思議について、ペットボトルや下敷きを使った実験を行いました。16名の子どもたちが参加してくれ、先生のわかりやすいお話と、楽しい実験に「すごい!」と歓声をあげていました。

(そうふけ公民館との共催事業)



夏のおはなし会

＜大森図書館＞7月29日(水)

今年のおはなし会は、たくさんの方が参加してくれました。(大人59人・子ども92人)文化ホールのはなはなは参加者でうめつくされ、図書館ボランティアの方たちの声が後ろまで聞こえないほどの大賑わいでした。パネルシアターや切り紙、紙芝居、大型絵本など楽しい催しものがたくさんのおはなし会で会場はとても盛り上がりました。お土産の色とりどりの魚の折り紙も好評でした。

＜印旛図書館＞7月31日(金)

今年もたくさんのお友達が参加してくれた夏のおはなし会。いんざい君のおはなしと絵描き歌、大型絵本、パネルシアターに加えて、初めてのエプロンシアターも行うなどバラエティに富んだ内容での開催となりました。みんなで手遊びをしたり、おはなしに夢中になったお友達が一緒になって声をかけてくれたりと会場は大賑わい。リボンで作った金魚のお土産も喜んで持って帰ってくれました。



図書館クイズ <そうふけ図書館> 7月22日(水)～8月9日(日)

今年初めてそうふけ図書館でも、夏休み中に図書館クイズを開催しました。84名の子どもたちが参加してくれました。殆どの子どもたちが、満点をとって、賞状を手喜んでくれました。これをきっかけに図書館に来館してくれる子どもたちが増えれば嬉しいです。

ブックスタンプラリー 7月22日(水)～8月30日(日)

<大森図書館>

昨年に引き続き今年も夏休み期間中に開催しました。2歳から12歳までたくさんの子供たちが参加してくれ、とても賑やかになりました。5個達成は81人、10個達成は29人でした。皆スタンプを押すのが楽しそうで、毎日通って来るほどよく頑張りましたね。学校が始まってまた本を読んだり借りたり、おはなし会に参加したりと、図書館に足を運んでくれるようになれば嬉しいなと思います。

<そうふけ図書館>

そうふけ図書館でも、今年初めて夏休み中に開催しました。たくさんの子供たちが参加してくれ、予想以上の反響に驚きました。中には、スタンプを30個集めた強者もいて、みんな熱心に参加してくれました。曜日によって違うので、今日はどのスタンプがもらえるか、楽しみに来館してくれたようです。



ブックリサイクル <大森図書館> 9月5日(土)

恒例のブックリサイクルには今年も300名を超える多くの方にご来場いただきました。毎年9月に行うため、秋の長雨が気になるころですが、今年は晴れ間も覗くリサイクル日和でした。帰り際に「ありがとう」と声をかけてくださる方も多く、皆さんに喜んでいただくことが出来ました。

尚、今回のリサイクル率は、図書74.1%、雑誌68.0%、合計71.6%でした。



図書館探検隊 <全館>

今年から印旛・本埜図書館が加わり、夏休み期間中に全館で行いました。普段入ることのできない図書館の奥をみんなで探検した後、本の貸出・返却・配架などの仕事を体験してもらいました。図書館がどんなところなのか更に興味を持ってもらえたのではないかと思います。



～図書館員のおすすめ本～

「ランチのアッコちゃん」 柚木 麻子／著 (双葉社)



派遣社員の主人公澤田三智子は、彼氏にフラれて落ち込み食欲もなくなっていました。そんなある日、突然派遣先の上司で、雲の上の存在の通称“アッコさん”こと黒川部長に声をかけられます。なんと彼女は1週間自分とランチを取り替っこしようというのです。気乗りのしないまま、強引に交換することになり、彼女の決めた不思議なランチのコースを巡るうち、自然と力がわいてきます。

本のタイトルを見て、お弁当についてのお話かなと思っていたのですが、ちょっと違っていました。

ランチを通して、アッコ女史の意外な交友関係などにふれながら、その前向きなパワーに、ちょっとネガティブ思考だった主人公がポジティブになっていく姿は、なんだか元気がもらえます。読んだ後、ホッコリ癒される1冊です。

毎月の展示

図書館では、毎月テーマにそった資料の展示を全館で行っています。展示の内容は季節感あふれるものから、時事的・社会的テーマ、作家特集やテーマ別文学特集など、多岐にわたっています。ぜひご覧ください。

今回は <小林図書館> をピックアップ!!

10月

テーマ「笑い泣き必至！介護/
バリアフリーの本」

ロングセラー『ペコロスの母に会いに行く』、スマッシュヒット『自閉症の僕が跳びはねる理由』はお読みにになりましたか？ ためになります。



11月

テーマ「家族の絆」

11月の第三日曜日は「家族の日」。ベストセラー『家族という病』という本もありました。親子、夫婦、祖父母と孫、きょうだい・・・大切な家族について考えてみませんか。

大人のための絵本の世界

VOL.3

～大人になった今、自分のために絵本を読んでみませんか～

絵本は子どものためのもの…そんなふうに思っている方が多いのではないのでしょうか？ いえいえ、実は大人だからこそ楽しめる世界があります。大人になってから絵本を読んでもみると、子どもの時とはまた違った感動を感じる瞬間があります。人生経験を積んだ大人だからこそ楽しめる、豊かな絵本の世界をご紹介します。

「りんごかもしれない」

ヨシタケ シンスケ／作 （ブロンズ新社）

テーブルの上においてあったりんごを見つけたばく。「これは、もしかしたらりんごじゃないかもしれない・・・。」ここから一つのりんごを巡る、ぼくの不思議な想像の世界が広がります。りんご一つからここまで想像することができるなんて！と、ちょっと頭の固い私には驚きの展開でした。

そしてヨシタケシンスケさんのゆるい感じの絵と、ユニークな表現に、思わず声を出して笑ってしまいます。考えることがこんなに自由で楽しいことなんだと気付かされました。

みなさんもぜひ、このなんとも不思議な世界を味わってみてはいかがでしょうか？



図書館についてのお問い合わせは、下記のもよりの図書館までどうぞ。

大森図書館・・・42-8686
そうふけ図書館・・・45-2566
印旛図書館・・・80-3850

小林図書館・・・97-0005
小倉台図書館・・・47-5511
本埜図書館・・・97-3210